

令和4年7月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,597	8,882	4,524	4,358	31	31
2 千 石	3,999	6,728	3,442	3,286	25	36
3 内 山	5,592	7,910	4,204	3,706	△ 4	△ 9
4 大 和	3,472	6,671	3,264	3,407	24	25
5 上 野	7,416	15,484	7,588	7,896	△ 3	3
6 高 見	7,297	13,217	6,311	6,906	2	△ 29
7 春 岡	6,877	10,982	5,772	5,210	0	△ 7
8 田 代	11,271	21,867	10,427	11,440	11	14
9 東 山	10,270	19,204	9,381	9,823	3	7
10 見 付	4,554	8,425	4,229	4,196	16	29
11 星 ケ 丘	3,541	6,860	3,056	3,804	8	23
12 自 由 ケ 丘	3,557	7,268	3,286	3,982	△ 3	△ 7
13 富 士 見 台	6,512	15,277	6,954	8,323	1	2
14 宮 根	3,787	8,100	3,723	4,377	△ 7	△ 10
15 千 代 田 橋	3,722	8,310	3,920	4,390	7	1
千 種 区 計	87,464	165,185	80,081	85,104	111	109
R3. 7. 1	86,921	164,948	80,034	84,914	△ 47	△ 147
対 前 年 比	543	237	47	190	158	256
名 古 屋 市	1,141,658	2,326,452	1,142,277	1,184,175	1,007	213
愛 知 県 (R4. 6. 1)	3,287,032	7,502,733	3,737,669	3,765,064	8,384	5,705

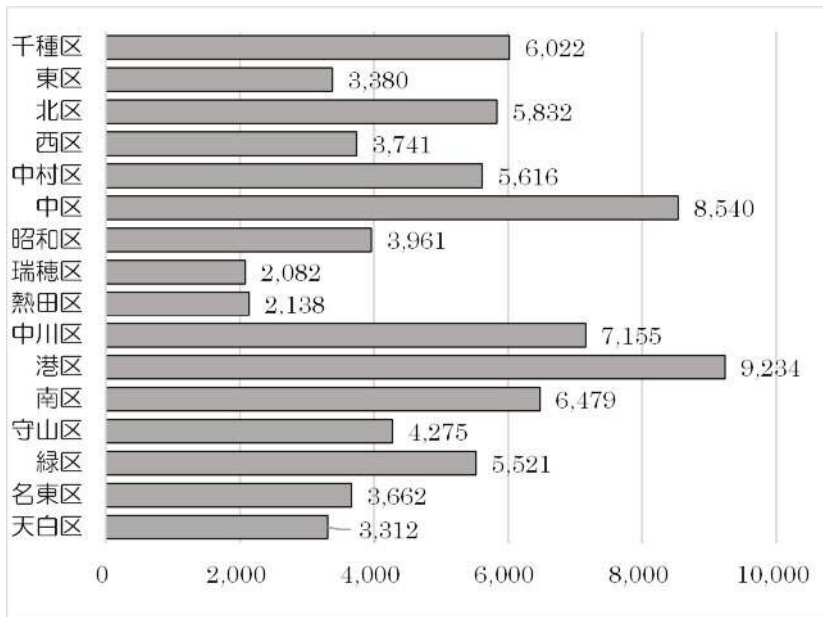
前月中の 増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	86	116	△ 30	1,066	927	139

【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口と最小人口(千種区)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118	最大人口	173,598 (昭和50年2月1日)
平成2年	156,478	平成22年	160,015	最小人口	146,727 (平成11年4月1日)
平成7年	148,847	平成27年	164,696		
平成12年	148,537	令和2年	165,245		

注) 学区別の世帯数と人口は、令和2年国勢調査結果の本市独自集計速報値であり、後日総務省から公表される数値と異なる場合があります。

千種区の外国人人口の概況



今回は、名古屋市及び千種区の外国人人口の概況を見ていきます。

まず、名古屋市内の区別外国人人口について見てみます（図1）。

名古屋市内の各区の令和4年5月1日現在の外国人人口の数を比較してみると、港区が9,234人と最も多く、続いて中区が8,540人となっています。千種区は6,022人で、16区の中で5番目となっています。

図1：区別外国人人口（令和4年5月1日現在）

次に、千種区の国籍別外国人人口について見てみます（図2）。

令和4年5月1日現在の千種区の国籍別外国人人口を見てみると、中国籍の人口が1,757人と最も多くなっています。

次に、令和4年5月1日現在の千種区における、平成25年からの10年間の外国人人口の推移について見てみます（図3）。

千種区では平成25年からの10年間で外国人人口が1,480人増加しており、平成25年から令和元年までは外国人人口が増加傾向にあります。令和元年以降はコロナウイルス流行の影響か、外国人人口が減少傾向となっています。

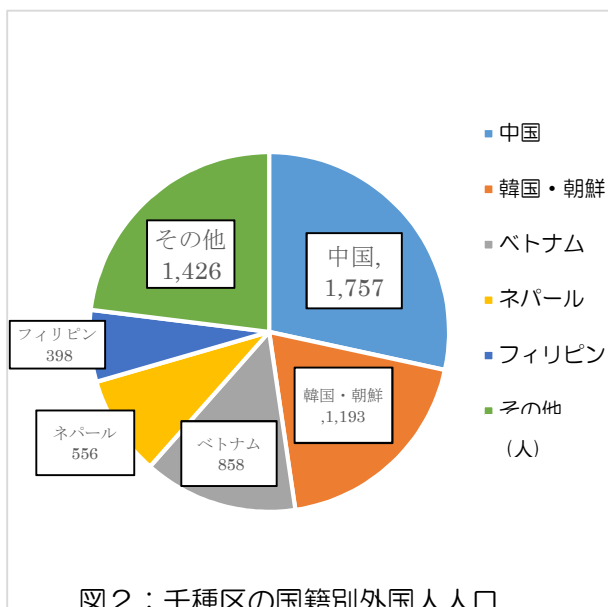


図2：千種区の国籍別外国人人口
（令和4年5月1日現在）

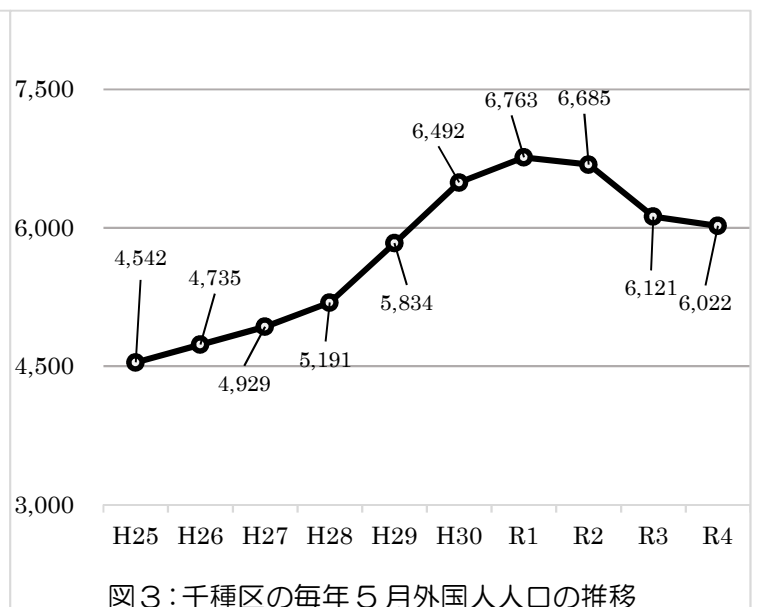


図3：千種区の毎年5月外国人人口の推移
（令和4年5月1日現在）